

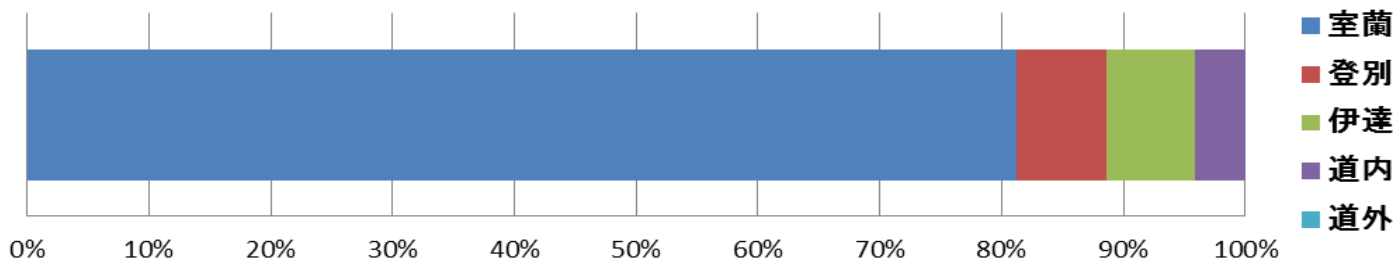
住民説明会における 来場者アンケート結果

平成27年11月27日、28日に行いました、**廃止した原子力発電所から発生する再利用可能金属の技術開発**に関する住民説明会において、ご来場された方にご協力いただきましたアンケートの結果をお知らせいたします。

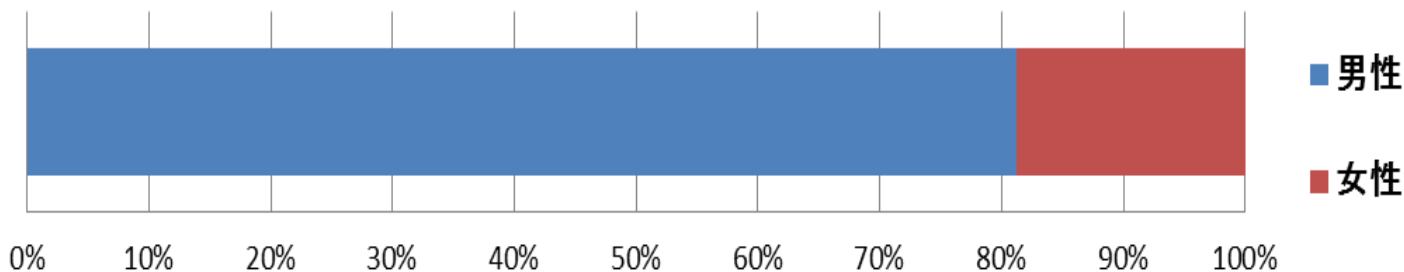
(アンケート結果は、統計的に集計を行ったものとしてお知らせしております)

➤ アンケート回答率: 74% (71人 / 96人)

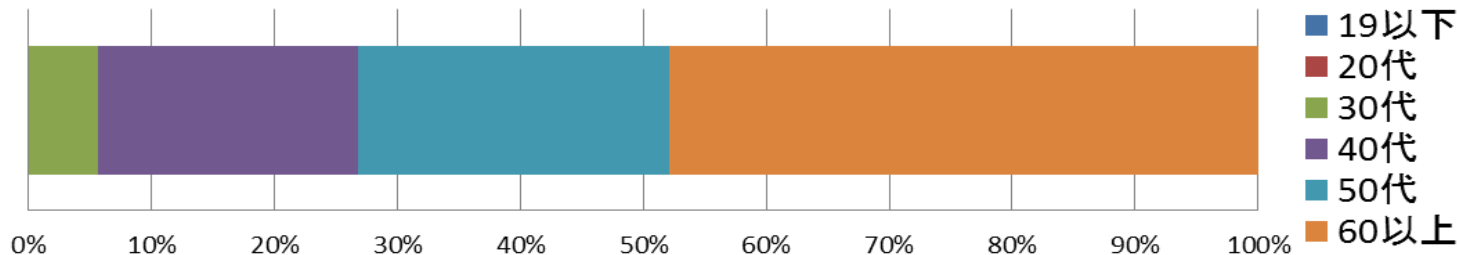
○住民説明会
参加者のお住まい



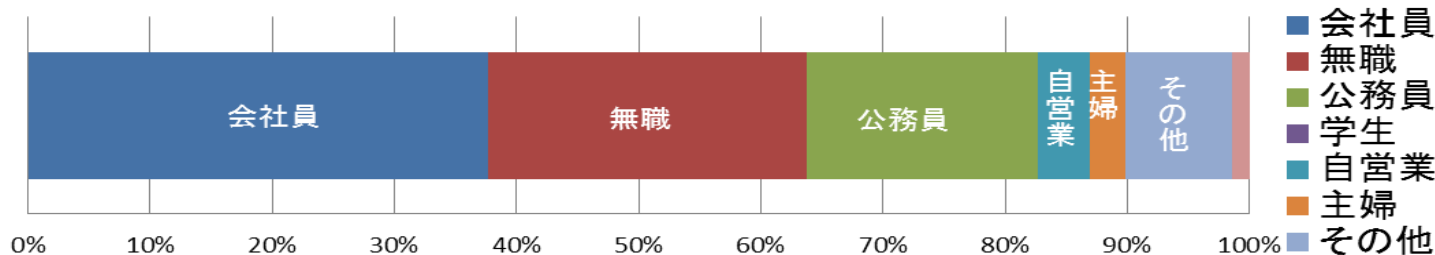
○男女比率



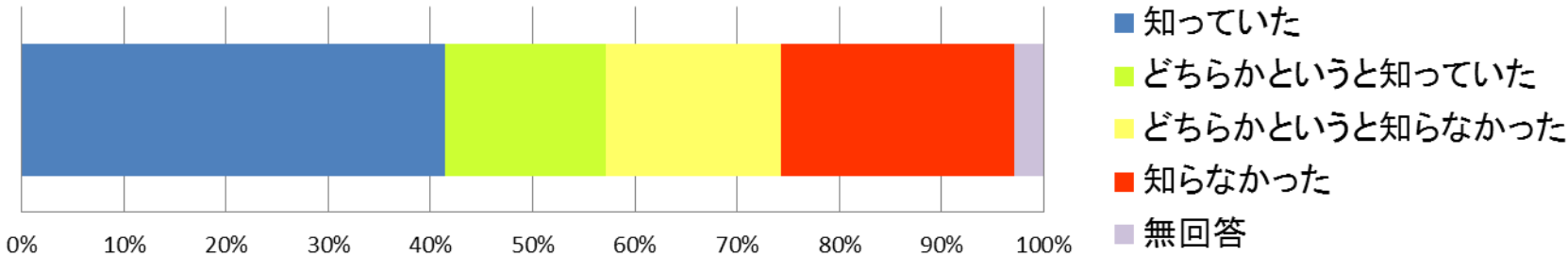
○アンケート回答者の
年齢比率



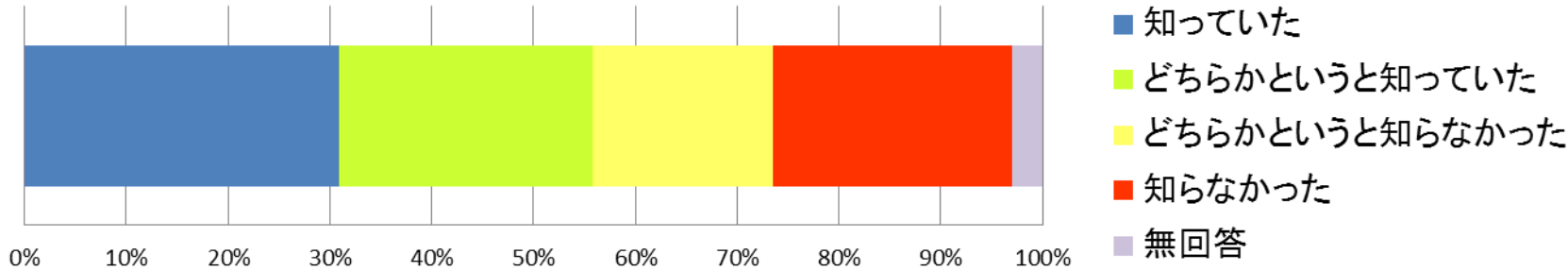
○アンケート回答者
の職業



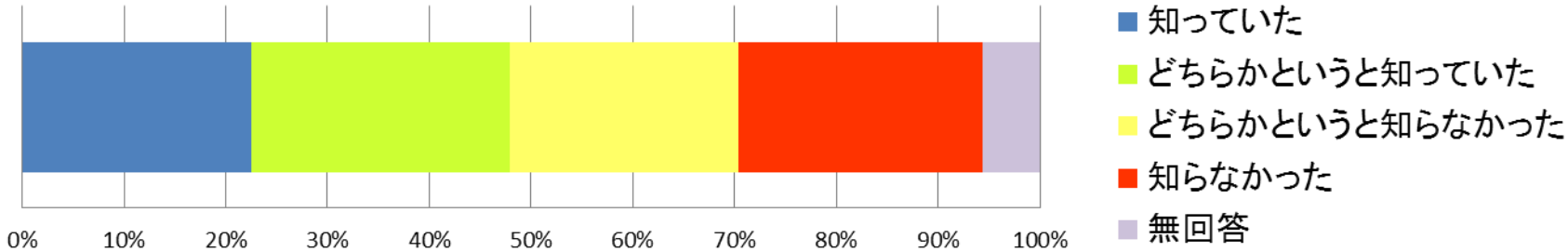
○原子力発電所から放射能が基準値以下の金属は放射性廃棄物ではなくなる(クリアランス)をご存知でしたか。



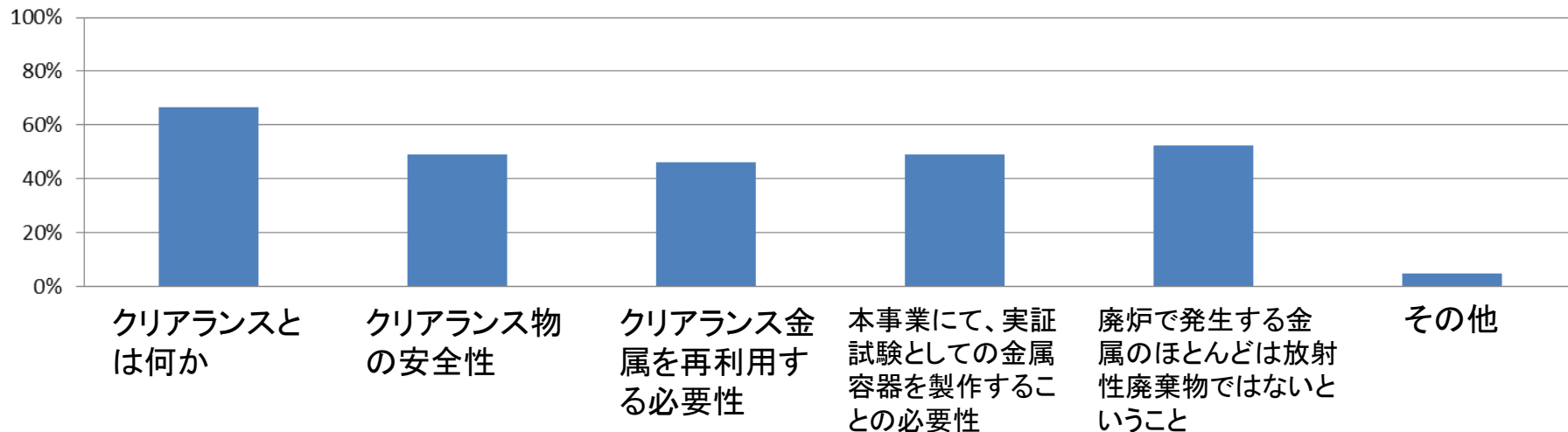
○放射能が基準値以下の金属は放射性廃棄物ではないことが、IAEAや日本の法律でも示されていることをご存知でしたか。



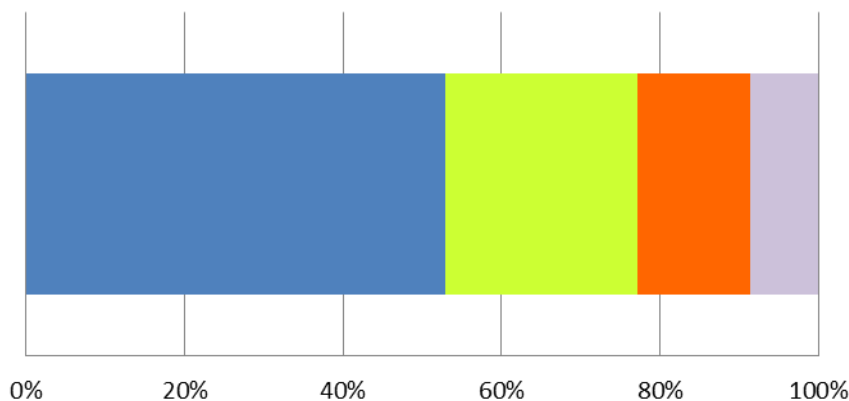
○原子力発電所から廃炉に伴い大量の金属類が出てきますが、大部分は放射性廃棄物でないことをご存知でしたか。



○今回の説明会を通してわかったことを教えてください。(複数回答可)



○資源の有効利用として原子力発電所の金属をリサイクルすること(クリアランス制度の活用)について、どのようにお考えですか。

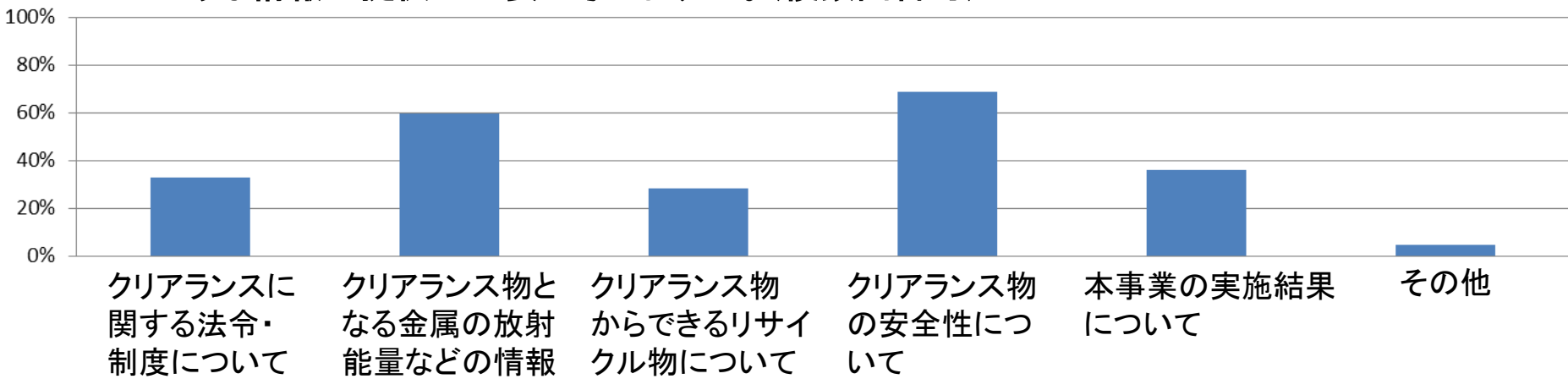


- 放射能が基準値以下の金属は、資源の有効利用のためリサイクルして再利用するのがよい。
- 条件付き(例:放射エネルギーの情報開示)であれば再利用を進めてよい。
- 放射能が基準値以下でも、原子力発電所から発生した金属を再利用するのは抵抗がある。
- 無回答

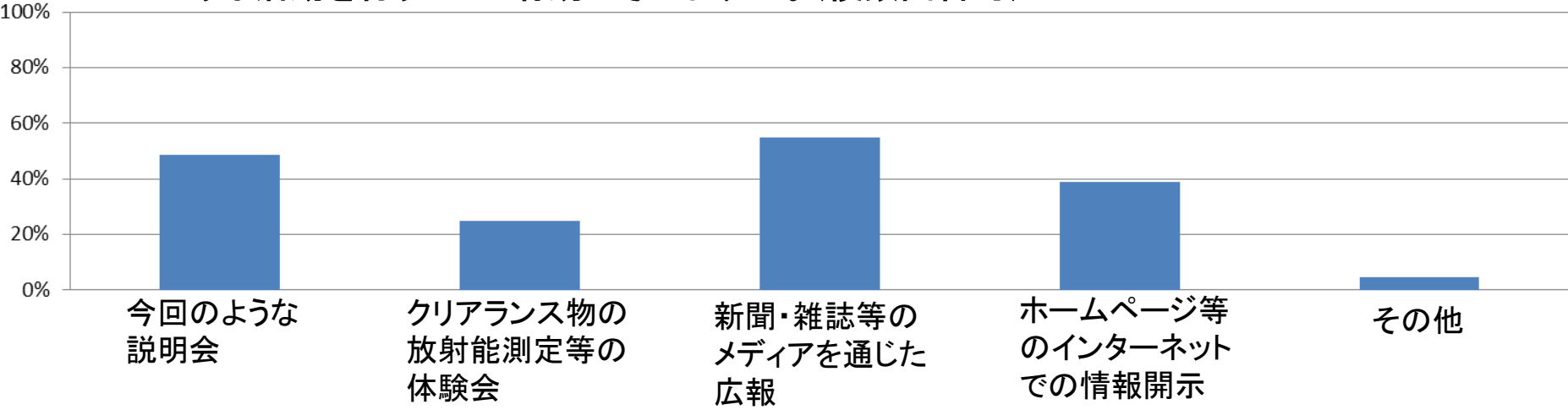
前の問いにおいて、「条件付き(例:放射エネルギーの情報開示)」とご回答いただいた方からの、条件についてのご意見は以下のとおりでした。

- 情報開示(試験方法、処理する部位、放射エネルギー(処理前・後))
- 履歴のトレーサビリティ確保(放射能データ、使用部位等)
- 市民による受入物の放射能測定(全数)
- 住民説明会の実施
- 再利用用途の限定
- 安全性の確認

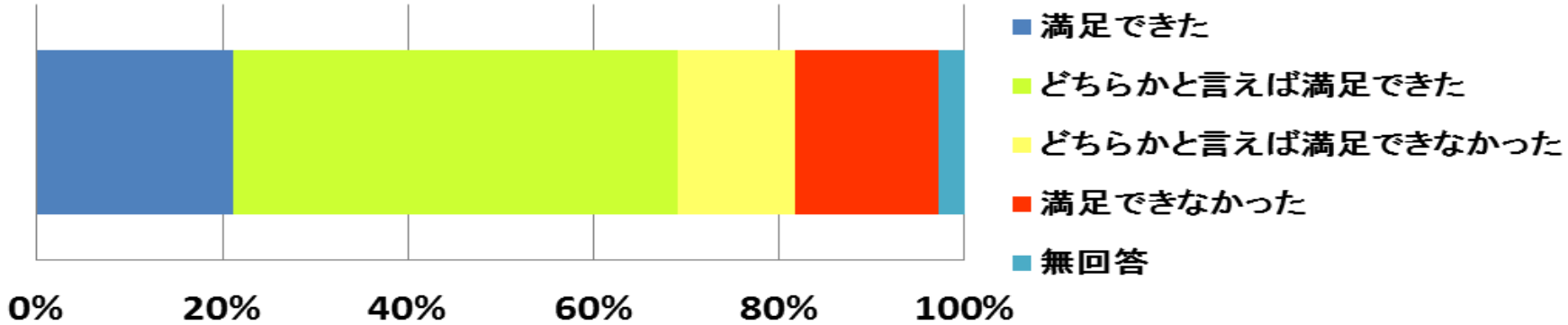
○今後、原子力発電所の金属のリサイクルを進める(クリアランス制度の活用)には、どのような情報の提供が重要と考えますか。(複数回答可)



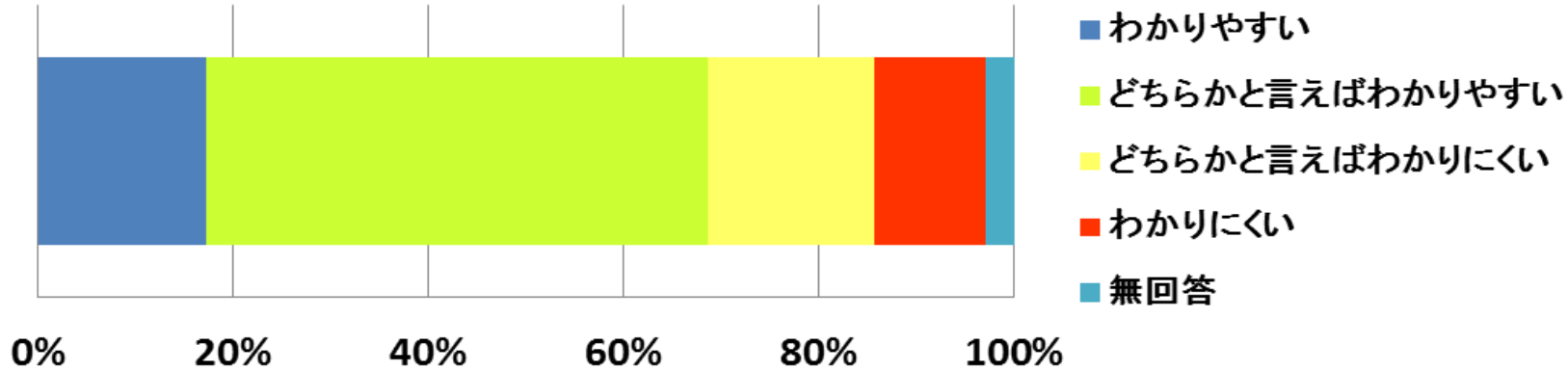
○今後、原子力発電所の金属のリサイクルを進める(クリアランス制度の活用)には、どのような活動を行うことが有効と考えますか。(複数回答可)



○本日の説明会について満足いただけましたか。



○本日の説明会について、全体として分かりやすい内容でしたか。



○「どちらかといえばわかりにくい」「わかりにくい」と答えた方にご質問です。
わかりにくかった点を教えてください。(複数回答可)

